

# SHIN CLUB 114

(株)ユニホー辰カンパニー 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



## 今月のトーク/monthly talk

リビングデザインセンターOZONE 7F「住まいの照明体感ラボ」 撮影：アック東京

### 住まいの照明

写真はこの夏、15周年を迎え、施設を大幅にリニューアルした、リビングデザインセンター OZONE の「住まいの照明体感ラボ」のコーナーです。弊社は、今回内装工事を担当させていただきました。リビングデザインセンター OZONE は「暮らしにもっとデザインを」をコンセプトに、住関連ショールーム、インテリアショップ、住関連情報とコンサルティングフロアで構成されています。

総合計画を担当した、「唯アソシエイツ」の大澤勝彦氏は、「リビングデザインセンター OZONE は住まいを作りたい大勢の人々が訪れる場所。暮らしをより快適に演出する、実際の照明の方法が体験できるスペースを今回提案させていただいた」と振り返ります。また一般に住まいを作る側は、プランに比べて照明に対する配慮がまだまだ足りず、もっと積極的に照明計画に関わるべきだとおっしゃいます。

「専門家やメディアは、もっと照明について啓蒙活動を行ってほしいですね。住宅の中でも、省エネ、健康、安全といったテーマと密接につながる重要な分野であるにもかかわらず、一般の人々の光そのものへの理解がまだまだ足りない。昼間は外の自然に光を得ることができるが、夜間は人工の光が生活を快適にしてくれるのです。それには、メーカーの商品だけのショールームや専門家向けの科学的な説明だけではなく、もっとわかりやすく、理解を深める場所が必要です」と大澤さん。

例えば、今回、各部屋に設置している調光装置「ルートロン」などは、暮らしの一日のシーンを想定プログラムして、そのシーンごとに部屋の各照明の光量を設定することで「人間の感覚に合わせた快適な空間

を作ることになる」そうです。

「花が枯れたら、新しいものと取り替えるでしょう。照明もペンダントタイプの蛍光灯をいったん付けたら、そのまま夜寝るまで煌々とつけているのではなく、心の動きをコントロールするべく、明～暗のグラデーションを調節したり、ON/OFF を切り替えたりして、手間をかけることが必要です。家事労働と読書、休息など、生活場面によって光の量は異なります。冷暖房などの空調はコントロールすることが非常に進歩したのに、照明は忘れられています。光が人間の身体に影響するという点は、温度と変わらない。必要のないところはスイッチを切る、それは消費電力を減らすことになり、省エネにもつながります。

例えば、今一般的な照明の 500 ルクス明るさは本当は必要ない。部屋の中をただ歩くなら 200 ルクスで十分です。忘れてならないのは、照明は慣れがあるということ。ヨーロッパのホテルに行ってみると、ほとんどの日本人は照明が暗いと感じるようですが、慣れてくるとそれで十分なことがわかります。そんなちょっとした工夫で経済効果が得られるのが照明なのです。そんな知恵を養うためのラボがこの、『照明体感ラボ』なのです」

「このラボは作ったら終わりではありません。時代に合わせて、光源も照明器具も進化します。『生活を豊かに』し『エコ・省エネ』と両立できるものを求めていくことが大切です」と大澤さん。

皆さんも OZONE へ行って、実際の効果を確認してみてください。

# リビングデザインセンターOZONE 住まいの照明体感ラボ



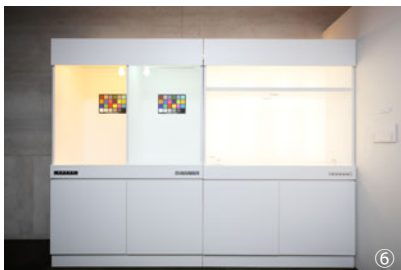
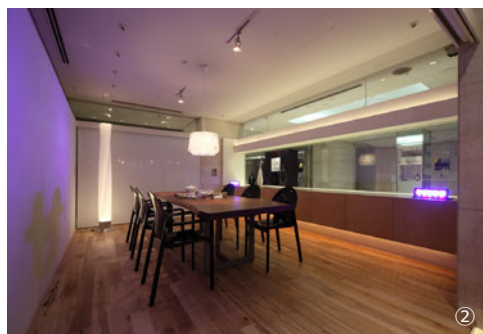
一般住宅を想定した空間で、照明効果を体験するスペース

今回、開館15周年を迎えたリビングデザインセンターOZONE（西新宿）のリニューアル企画として、7階に新設された「住まいの照明体感ラボ」の企画ならびにデザインワークを行った。私が住宅の照明で一番大切にしていること、それは「窓からもれる明かり」である。今回の空間は内部だけであかりを表現するにはあまりにも小さい空間だったので、空間の外に視点を拡張し、ギャラリー空間、そして共用の通路部分まで「ハイジャック」することで、住宅の中にある「あたたかな明かり」とその変化を外からも経験してもらおうと試みている。

窓を通しての見え掛かりやギャラリーのガラス壁面への映り込みが、通路を移動することで変化して見える。そうした環境で、その向こうの「明かりがもたらす空気感」を来館者に感じ取ってもらうことが重要だと考えた。この現場では既存の大理石の柱ですら、あたかも我々の空間のためにあるかのような佇まいに仕上がっていると思う。

「窓からもれる明かり」は、ときに疲れて帰宅するサラリーマンの心をすっ和家人のもとへ連れていってくれるものだし、レストランの場合であれば、思わず食欲を刺激されて店内に吸い込まれてしまうようなものだろう。それはまた、嘘のない内部があってこそ成り立つ関係でもある。つまり疲れたサラリーマンには暖かい家庭があるから、レストランでは最高のホスピタリティと本物の味があるから成り立つわけである。ラボの内部には、いろいろな照明手法や工夫があふれている。ぜひ多くの方に体験していただきたい。

桑原聡 / 桑原聡建築研究所



## ■ 照明計画

総合計画：  
株式会社唯アソシエイツ  
照明計画：  
ライティングコンサルタン  
ツ・オフィス  
建築設計：  
桑原聡建築研究所  
照明デザイン：  
MGS照明設計事務所

## ■ 住まいの照明体感ラボ

新宿区西新宿3-7-1新宿パークタ  
ワー内 リビングデザインセンター  
OZONE 7F  
開館時間 / 10:30 - 19:00  
休館日 / 水曜日（祝日は除く）  
www.ozone.co.jp  
アクセス：新宿駅南口より徒歩8分  
西口エルタワー前より約10分間隔  
で無料送迎バス運行

①ダイニングルーム。デザインと光で部屋を彩る主照明。テーブル以外の照明を抑え、間接照明で部屋全体に柔らかな明るさを加える②足元照明で奥行きを広げ、カラーキネティクスの鮮やかな色は、パーティなど特別な日を演出する③リビングルーム。ダウンライトで基本的な明るさを得て、デザイン性のあるインテリア照明で、必要に応じて光を加える。カーテン照明で色や素材、デザインをさらに際立たせる④パウダールーム。白いベースライトで基本の明るさを得て、横からライトシェードの透過光が顔を立体的に見せる。洗面カウンターの下部や、鏡の裏側に光を仕込み、やさしい空間を作り出す⑤中庭。植栽、踏み石、水盤を照らし出す光の効果を楽しめる。天井から中央の水盤に落ちるしずくが織り成す、壁の影の揺らぎに、自然の安らぎを感じる⑥エクストラルームに設置された、間接照明の光源比較コーナー。照らし出された白い家具の明るさ、色味を比較できる

## TOPICS/INFORMATION

「9月社内研修会開催」 9月5日



藤田氏



南氏

今回のテーマは、

「電気設備、給排水衛生空調設備の現場で必要な知識」です。講師に、(株)藤田設備設計事務所の藤田勝様、(株)環境プランナーの南実様をお迎えして行いました。標準施工と不具合事例の比較や検査のポイントなど、ときにイラスト入りで、現場ですぐに役立つ知識をわかりやすく解説いただきました。

「常に新しい方法・材料を学び、品質管理、経済性に配慮した施工標準図を作成すること」「建築図面と設備図面の整合性が重要」とのお言葉に一同納得でした。

みんなで考える住まいのかたち

コムネ・コムネ 代表 / 土谷 貞雄



# Sadao Tsuchiya

無駄な装飾を一切排除し、機能性を第一に考えたデザインの日用品、「無印良品」というブランドが登場したのは、今から 30 年も前のこと。スーパーの西友の一角にたった 40 品目の調味料や食料品でスタートしました。透明な袋にはいった商品には、「わけあって安い」とセンセーショナルなコピー。すべてに安さのわけが丁寧に書かれてありました。その後「無印良品」は次々と商品を開発し、現在は 7000 アイテムの商品を供給しているそうです。西友からも 20 年前に独立。直営店舗だけでなく、海外にも進出。その生活用品を売る企業が 2003 年には、住宅事業への進出を開始して話題になりました。スケルトン+インフィル、SE 構法を基調とした「無印良品の家」は、「窓の家」で 2008 年「グッドデザイン金賞」を受賞。今月は、昨年までこの「無印良品の家」のプロジェクト・マネージャーを務めた、土谷貞雄さんをお迎えしました。

—「無印良品」の HP は、会社概要や商品をネット販売するだけではなく、商品に対するお客様の意見や感想をアンケートの形で吸い上げ、本当にお客様が求めるものを提供しようという姿勢が貫かれていますね。

土谷：そうです。その中で僕は 2004 年に「無印良品の家」というオリジナル商品を作ることになったのです。それまで何千点もの商品を作ってきたので、生活を見せる事において家も作ることができると踏んでいたのですが、実際には、初めはほとんど売れなかったですね。今はずいぶん伸びてきて、年間 140 棟くらいの売上になっています。「木の家」「窓の家」というプロジェクトを通してわかったことは、お客さまの期待は単に家を買ってくださるというより無印という思想に共感していただいているんだということです。家というのは暮らしのシンボルであって、「無印商品が人々の暮らしを豊かにしていく」ということを提案し続けなければいけないと思いました。通常のハウスメーカーとは違う中立的な立場で、お客様のニーズを掘り起こしていくことが大切だと思っています。僕はいったん家づくりの企画からはじめましたが、本当のお客様の暮らしを知りたいと思い始め、1 年半前からこの 7 月までお客様に向けて、インターネットで毎月アンケートを行いました。

—それが、「みんなで考える住まいのかたち」というサイトですね。  
土谷：まず、あるテーマを掲げ、メールマガジン（以下メルマガ）で問題を投げかけます。例えば、「あなたはテレビをどこで見ますか」とか「洗濯機はどこにおきますか」など。すると、それに対して回答が寄せられ、更に細かい質問を続け、それを間取りにしていって、ということを行います。それによって浮かんでくる課題などを考えて、今度はもっと細かくアンケートをとっていきます。洗濯機の問題を聞くのであれば、家事についてのアンケートを行い、何を、いつ、どこで、どのくらいしていくのか、などということ調べます。反響が次第に大きくなり、最終的にはアンケートについては 1 万人を超える方が参加してくれるようになりました。

このプロジェクトを進めていくうちに、アンケートはコミュニケーションのツールであり、答を出すことよりも、いい問いを作ることが重要だとわかってきました。いい問いをつくるために、実際のお客様の家にも行き、課題を見つけるようにします。現場をみることで様々な発見があります。とにかくお客様の声を聞くこと。そのことでアンケートのリアリティをあげていくことができるのです。

「無印」の原点はお客様と一緒に考えることです。平均値である必要はないし、メジャーであること必要もない。パーソナリティは、端っこ、マイナーな部分に出てきます。たくさんの数のデータから浮き上がってきた一つ一つの問題は小さなことや、マイナーなことのほうが大切です。無印良品ではこうしたユーザーから多くのことを学びました。

この 6 月に無印を退社して、「コムネ・コムネ」という組織をつくりました。暮らしの延長としてコミュニティのありかたを研究し始めました。豊かな暮らしにはお互いが支え合う理想的なコミュニティが必要だと思ったからです。持続可能な社会の仕組みや環境に負荷のない暮らしや建築を考えていこうと思います。無印での経験を生かして、暮らす人の視線を忘れずに、暮らす人と一緒に考えていきたいですね。  
—本日はありがとうございました。

## 「コミュニケーションでは問いかけが大事、 答は全てユーザーから学びました」

### 土谷 貞雄

1960 年 東京生まれ  
1989 年 日本大学理工学部大学院建築史研究室修了。  
同年、イタリア・ローマ大学に留学し建築デザインと近代建築史を研究。  
その後ローマ、ナポリで建築設計活動に携わる  
1994 年 帰国。ゼネコンで施工/設計/営業を経験  
2001 年 建設工学協議会を設立。技術者のプラットホームを作る  
2004 年 9 月 無印良品の子会社、ムジネット株式会社に入社  
2008 年 取締役事業部長に就任  
2009 年 6 月 ムジネットを退社  
持続可能なコミュニティをデザインする集団「コムネコムネ」設立

この 8 月 27 日、入居が決まった「池尻ものづくり学校」にて。自身の主宰するコミュニティ「コムネコムネ」の活動拠点にしていく予定だ。  
<http://www.comunecomune.com/>



# メンテ魂

その後、  
お住まいはいかがですか

## 第21回 イサミヤ第8ビル

所在地：千代田区  
用途：店舗・事務所  
構造：S造  
規模：地上5階  
設計：有馬立郎 / 計画意匠研究所  
竣工：2002年12月



秋葉原に何棟もテナントビルを所有されているO様の8番目のビルとして、2002年に竣工した物件です。パソコンの部品がコンテナに積まれてとこ狭しと売られている、まさに「アキバ」を象徴している通りに建つこのビルは、オーナーの自社スペースを最上階に置き、喫茶店や本屋のテナントを想定して建てられました。最上階は斜線規制で斜めになったガラスファサードからの光が明るく、使いやすい空間となっています。

オーナーご自身がほかのビルの管理も手がけられているため、弊社でのメンテナンスではなく、自ら専門業者に手直しを依頼されている箇所も少なくありませんが、窪田第一建築部長と伺い、お話を聞きました。

一建物が建ったときには、本屋さんがテナントとして入ってほしい、とのご希望がありましたね。

O様：最初に4階に漫画喫茶、3階に普通の喫茶店が入りましたね。漫画喫茶はハシリだったのですが、競争が厳しくなって、そのテナントは「今度はメイド喫茶にしたい」と(笑)。それも過当競争となって、1年後は「メイド居酒屋」にしたいと言い出しました。7時以降は誰も通らないよと言いましたが、改装に2,3ヶ月かけて開店したら、土日は行列ができるほど流行ってますね。3階も借り、支店も出して、今度は鉄道居酒屋を別のビルでやるということです。企画モノが得意な上客ですね。

—1階はずっとパソコンの部品ショップですね。2階は普通の喫茶店。

O様：韓国人や中国人、インド人のお客さんが多かったのですが、最近ではロシア人やインドネシア人、ヨーロッパの人も多いですね。1年前の通り魔事件以来、歩行者天国は中止されたままですが、商売をしている人は復活してほしいと言う声が多い。住人や警察はまだNO、という姿勢です。

—これまでの建物のメンテナンス状況はいかがでしたか。

O様：最初に最上階の天井に屋上の塔屋からの雨漏りがあった、場所が確定しなかったのですが、あるとき屋上に鍵をかけていなかったせいもあつ

て、誰かが壁に大穴をあけてくれたんですね。それで防護用ボードも貼り、塗装も全てやり直したら、雨漏りも止まりました。

それから1階のトイレから水が逆流したのですが、これはうちの設備業者の工事だったので、保険対応しました。下水管に空気が入っていたために、1階と2-3階のトイレを同時に使用すると、管内の空気の逃げ場がなくあふれてしまう、というものでした。

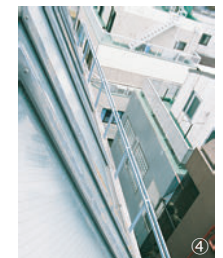
またエントランスの床がモルタルに砂利を薄く敷いて接着させたような床なのですが、その砂利がだんだん剥れてくるんですね。エントランスや入口は、居酒屋にしたせいか、壁をけられたり傷つけられたりすることが増えて、角を金属板で覆ったり、壁を再塗装しています。

屋上のガラスファサードの鉄枠には、いい錆止めを指定していたはずなのですが、もう錆が出てきましたね。建物の外壁の角も錆が出ています。

窪田：小口が錆びてくるんですね。あと、現在はまだいいのですが、屋上のエアコンの室外機のパイプのコーキングがそろそろ硬くなってくる頃なので、手当てが必要になってきます。

O様：急がないので、全体的な見積を出してみてください。

—本日はありがとうございました。



①エントランスの砂利仕様の床のはがれと、壁。壁の下部には新たに金属プレートを貼っている②屋上塔屋。向かって左側の壁に穴を開けられたため、修復して全体に再塗装。エアコンの室外機③4階のメイド居酒屋。シンプルな空間④屋上のガラスファサード。写真ではわかりにくい鉄枠の角が少し錆が始めている⑤1階から2階にかけて外壁にガルバリウム鋼板が貼られているが、アングル部分が鉄のため、錆が少し浮いている。

## TOPICS/INFORMATION

### 「K邸新築工事 地鎮祭」 8月21日



目黒区東山の高台に建つ、おしゃれな住宅です

構造：RC造、  
地下1階、地上3階  
用途：専用住宅  
設計：ジェネラルデザイン 大堀伸  
完成予定：2010年4月

### 「下目黒の森テラス新築工事」上棟式 8月29日



コーポラティブ住宅です。地鎮祭から8ヶ月、小さな新しい家族も増えて、建物の完成がますます楽しみなオーナーの皆様です。

構造：RC造、地下1階、地上3階  
用途：長屋12世帯  
設計：スタジオアルテック  
完成予定：2009年11月

### 編集後記

・新しくオープンした「住まいの照明体感ラボ」では、ルートロンやヤマギワといった照明関連だけでなく、OZONEに出店しているザ・コンラッシュショップやNATURE DESIGNなどのインテリア関連企業様にも商品をご協力いただいています。

・先日、我が家の近所でも無印良品の家「窓の家」が竣工しました。ご両親の住居に息子さん夫婦が増築された2世帯住宅です。既存部分の建物もリフォームされて、楽しい暮らしが始まっているようです。

(株)ユニホー辰カンパニー通信 Vol.114 発行日 2009年9月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp